

*T. Witcher  
98401 #2*

# PRICE AND GESS

ATTORNEYS AT LAW

2100 S.E. MAIN STREET, SUITE 250

IRVINE, CALIFORNIA 92614-6238

JOSEPH W. PRICE  
ALBIN H. GESS  
MICHAEL J. MOFFATT  
GORDON E. GRAY III  
BRADLEY D. BLANCHE  
J. RONALD RICHEBOURG

OF COUNSEL  
JAMES F. KIRK

A PROFESSIONAL CORPORATION  
TELEPHONE: (949) 261-8433  
FACSIMILE: (949) 261-9072  
FACSIMILE: (949) 261-1726

e-mail: jwp@pgpatentlaw.com



**PRIORITY DOCUMENT – JAPAN 2000-258649**

Applicant(s): Hiroko Sugimoto et al.

Title: CONTENT REPRODUCTION APPARATUS AND  
REPRODUCTION METHOD

Attorney's  
Docket No.: NAK1-BP74

**"EXPRESS MAIL" MAILING**

**LABEL NO. EL 852659501 US**

**DATE OF DEPOSIT: August 14, 2001**

J.W. Price 949/261.8433

Hiroko Sugimoto et al

日本国特許庁

JAPAN PATENT OFFICE

NAK1.BD74



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 8月29日

出願番号

Application Number:

特願2000-258649

出願人

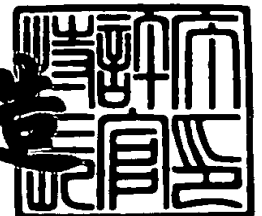
Applicant(s):

松下電器産業株式会社

2001年 5月25日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3045446

【書類名】 特許願

【整理番号】 2022520325

【提出日】 平成12年 8月29日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60  
G09G 5/00

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 杉本 博子

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 北村 朋彦

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100097445

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩橋 文雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100103355

【弁理士】

【氏名又は名称】 坂口 智康

【選任した代理人】

【識別番号】 100109667

【弁理士】

【氏名又は名称】 内藤 浩樹

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011305

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9809938

【書類名】 明細書

【発明の名称】 蓄積データ表示装置および方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 放送手段若しくは通信手段により伝送される映像・音声等で構成された番組データと、これとは独立に伝送される広告・お知らせ等の情報データを受信し、再生する再生装置であって、

受信された番組データから映像・音声等のデータを復元する番組データ処理手段と、

受信された情報データを蓄積する情報データ蓄積手段と、

前記蓄積手段に蓄積された前記情報データの読み出しを行う情報データ読み出し手段と、

前記情報データ読み出し手段の読み出した前記情報データから広告・お知らせ等の情報を復元する情報データ処理手段と、

ユーザーが再生装置に対し、不特定の操作、若しくは情報表示を意図する操作以外の特定の操作を行ったか否かを判断する判断手段と、

前記番組データ処理手段からのデータと、前記情報データ処理手段からのデータとを入力し、これらのいずれか、若しくは両方を表示装置に出力する出力制御手段とを有し、

前記出力制御手段は、前記判断手段の判断結果が否定から肯定に変化したとき、前記番組データ処理部からのデータのみの出力を行う出力制御から、前記情報データ処理手段からのデータのみの出力、若しくは前記番組データ処理部からのデータと前記情報データ処理手段からのデータとの合成データの出力を行う出力制御に切り替える再生装置。

【請求項2】 放送手段若しくは通信手段により伝送される映像・音声等で構成された番組データと、これとは独立に伝送される広告・お知らせ等の情報データを受信し、再生する再生方法であって、

受信された番組データから映像・音声等のデータを復元する番組データ処理ステップと、

受信された情報データを蓄積する情報データ蓄積ステップと、

前記蓄積手段に蓄積された前記情報データの読み出しを行う情報データ蓄積ステップと、

前記蓄積手段に蓄積された前記情報データの読み出しを行う情報データ読み出しステップと、

前記情報データ読み出し手段の読み出した前記情報データから広告・お知らせ等の情報を復元する情報データ処理ステップと、

ユーザーが再生装置に対し、不特定の操作、若しくは情報表示を意図する操作以外の特定の操作を行ったか否かを判断する判断ステップと、

前記番組データ処理ステップで復元されたのデータと、前記情報データ処理ステップで復元されたデータとのうち、いずれか、若しくは両方を表示装置に出力する出力制御ステップとを有し、

前記出力制御ステップでは、前記判断ステップにおける判断結果が否定から肯定に変化したとき、前記番組データ処理ステップで復元されたデータのみの出力を行う出力制御から、前記情報データ処理手段で復元されたデータのみの出力、若しくは前記番組データ処理部で復元されたデータと前記情報データ処理手段で復元されたデータとの合成データの出力を行う出力制御に切り替えることを特徴とする再生方法。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

#### 【発明の属する技術分野】

本発明は、デジタルTV受信装置、特に、放送により伝送される番組データの再生表示に加え、広告、お知らせ等の情報データを受信・蓄積し、表示が可能な蓄積データ表示装置に関するものである。

##### 【0002】

#### 【従来の技術】

近年、CS等のデジタル放送では、多チャンネルの番組を1本若しくは複数本のトランスポートストリームにまとめて、これを搬送波にのせ、送信する方式を採用している。トランスポートストリームに含まれる各チャンネルのパケットの内容は通常は音声、画像等のデータにより構成される番組再生用の情報であるが

、文字情報や静止画等のデータで1つのチャンネルを構成し、広告データやお知らせ等を通常の番組とは別に送信することも可能である。

### 【0003】

また、ハードディスクに代表される蓄積装置の大容量化、低価格化により、デジタル放送受信装置にこれらの装置を組み込み、データの蓄積を行う仕組みが導入されている。

### 【0004】

#### 【発明が解決しようとする課題】

従来のデータ放送対応端末装置にあっては、映像・音声による広告データやお知らせ等の情報データの表示は、番組に連動して表示される、番組連動型であり、①ユーザーが席を外していても広告が表示される、②広告の表示期間中番組が中断される、等の課題がある。また、これらを解決するため、番組と連動せず、ユーザー側から情報データ表示の要求を受け取ってから情報を表示する方式では、広告等のユーザーの意志に係わらずに表示させたいデータの表示には不向きである。

### 【0005】

#### 【課題を解決するための手段】

本発明は、放送手段若しくは通信手段により伝送される映像・音声等で構成された番組データと、これとは独立に伝送される広告・お知らせ等の情報データを受信し、再生する再生装置であって、受信された番組データから映像・音声等のデータを復元する番組データ処理手段と、受信された情報データを蓄積する情報データ蓄積手段と、前記蓄積手段に蓄積された前記情報データの読み出しを行う情報データ読み出し手段と、前記情報データ読み出し手段の読み出した前記情報データから広告・お知らせ等の情報を復元する情報データ処理手段と、ユーザーが再生装置に対し、不特定の操作、若しくは情報表示を意図する操作以外の特定の操作を行ったか否かを判断する判断手段と、前記番組データ処理手段からのデータと、前記情報データ処理手段からのデータとを入力し、これらのいずれか、若しくは両方を表示装置に出力する出力制御手段とを有し、前記出力制御手段は、前記判断手段の判断結果が否定から肯定に変化したとき、前記番組データ処理

部からのデータのための出力を行う出力制御から、前記情報データ処理手段からのデータのみを出力、若しくは前記番組データ処理部からのデータと前記情報データ処理手段からのデータとの合成データの出力を行う出力制御に切り替える再生装置に関する。

【0006】

また、放送手段若しくは通信手段により伝送される映像・音声等で構成された番組データと、これとは独立に伝送される広告・お知らせ等の情報データを受信し、再生する再生方法であって、受信された番組データから映像・音声等のデータを復元する番組データ処理ステップと、受信された情報データを蓄積する情報データ蓄積ステップと、前記蓄積手段に蓄積された前記情報データの読み出しを行う情報データ蓄積ステップと、前記蓄積手段に蓄積された前記情報データの読み出しを行う情報データ読み出しステップと、前記情報データ読み出し手段の読み出した前記情報データから広告・お知らせ等の情報を復元する情報データ処理ステップと、ユーザーが再生装置に対し、不特定の操作、若しくは情報表示を意図する操作以外の特定の操作を行ったか否かを判断する判断ステップと、前記番組データ処理ステップで復元されたデータと、前記情報データ処理ステップで復元されたデータとのうち、いずれか、若しくは両方を表示装置に出力する出力制御ステップとを有し、前記出力制御ステップでは、前記判断ステップにおける判断結果が否定から肯定に変化したとき、前記番組データ処理ステップで復元されたデータのための出力を行う出力制御から、前記情報データ処理手段で復元されたデータのみを出力、若しくは前記番組データ処理部で復元されたデータと前記情報データ処理手段で復元されたデータとの合成データの出力を行う出力制御に切り替えることを特徴とする再生方法に関する。

【0007】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。

【0008】

（実施の形態1）

図1は本発明の実施の形態1における装置の主要部の構成を示すものである。



図 1 において、1 3 1 は、操作手段であり、ユーザが装置を操作するためのものである。代表的なものとして、リモコン、ワイヤレスキーボードなどがあげられる。

【0 0 0 9】

1 3 2 は、蓄積データ表示装置から出力される、映像音声データを表示するモニタである。

【0 0 1 0】

1 2 0 は、ユーザインタフェース部であり、操作手段 1 3 1 からの入力を受け、番組表示操作やモニタ出力操作を、番組表示制御部 1 0 4 およびモニタ出力制御部 1 0 5 へ通知するものである。

【0 0 1 1】

また操作手段からの入力検知を広告データ表示制御部 1 1 4 へ通知する。

【0 0 1 2】

1 0 1 は、番組データ受信部であり、前段においてトランスポートストリームから抽出された番組データのストリームを受信する。

【0 0 1 3】

1 0 2 は、番組データ蓄積部であり、番組データのストリームを蓄積する。

【0 0 1 4】

1 0 3 は、番組データ処理部であり、受信した番組データを蓄積する処理や、番組データ受信部 1 0 1 または番組データ蓄積部 1 0 2 から出力された番組データの復号処理を行う。

【0 0 1 5】

1 0 4 は、番組データ表示制御部であり、ユーザインタフェース部からの表示チャンネル通知や音声変更などの番組の表示操作に応じて番組の出力を制御する。

【0 0 1 6】

1 0 5 は、モニタ出力制御部であり、番組データ表示制御部 1 0 4 および広告データ表示制御部 1 1 4 からの出力を同時に、または、どちらかの出力のみをモニタへ出力するものである。

【0 0 1 7】

1 1 1 は、広告データ受信部であり、前段においてトランスポートストリームから抽出された広告データのストリームを受信する。

【0 0 1 8】

1 1 2 は、広告データ蓄積部であり、広告データを蓄積する。

【0 0 1 9】

1 1 3 は、広告データ処理部であり、受信した広告データを蓄積する処理や、広告データ蓄積部から出力された広告データの復号処理を行い文字情報や静止画等を復元する。

【0 0 2 0】

1 1 4 は、広告データ表示制御部であり、モニタ出力制御部に対し、広告データを出力し、広告データの表示を通知するものである。

【0 0 2 1】

以下その動作を説明する。

【0 0 2 2】

本実施の形態における装置に入力し、搬送波の状態から復元されたトランスポートストリームは、図 1 よりも前段（図示せず）において各パケットのヘッダ情報から必要なチャンネルのストリームが抽出され、図 1 の番組データ受信部 1 0 1 に出力される。番組データ処理部はこのストリームを番組データ蓄積部 1 0 2 に蓄積するか、若しくは番組データ表示制御部 1 0 4 に直接出力する。また、一旦番組データ蓄積部 1 0 2 に蓄積されたストリームを 1 0 4 に出力することもできる。1 0 3 が 1 0 4 にデータを出力するときは、番組を表示できるようにデコード処理を行ってから出力する。番組データ表示制御部 1 0 4 はユーザーインタフェース部 1 2 0 の指示に応じてモニタ出力制御部 1 0 5 に表示すべき A V データを出力する。モニタ制御部 1 0 5 はこの A V データをモニタ 1 3 2 に表示するための制御を行う。

【0 0 2 3】

また、広告データを含むストリームも前記 A V データの処理と同時に、あるいは前記 A V データの処理に先だって、図 1 よりも前段（図示せず）においてトランスポートストリームから抽出され、広告データ受信部 1 1 1 に入力される。広

告データ処理部は広告データ受信部に入力したストリームを一旦広告データ蓄積部 1 1 2 に格納する。また、広告データ処理部 1 1 3 は広告データ表示制御部 1 1 4 の制御に応じて広告データ蓄積部 1 1 2 からストリームを読みだし、これをデコードして広告データ表示制御部 1 1 4 に出力する。広告データ表示制御部 1 1 4 はユーザインタフェース部 1 2 0 からユーザが何らかの操作を操作手段 1 3 1 に行った旨の通知を受け取った際にのみ、広告データ処理部からの出力を受けてこれを処理し、モニタ出力制御部 1 0 5 に出力する。

#### 【 0 0 2 4 】

図 3 はモニタ出力制御部 1 0 5 の制御に関するフローチャートである。ステップ 3 0 2 にてユーザインタフェース部 1 2 0 からの操作手段 1 3 1 に操作（電源 ON、音量のアップダウン等）があった旨の通知を受けた際は、ステップ 3 0 3 に移行し、現在表示している番組を縮小表示して、空欄に 1 1 4 から出力された広告データを表示する。次にステップ 3 0 4 において時間をカウントして、一定時間経過後に広告データの表示を消して、番組データを通常表示に戻す。

#### 【 0 0 2 5 】

このようにすれば、ユーザが何らかの操作を装置に施した場合のみ、従ってユーザがモニタを注視している蓋然性が高い場合のみ、広告表示を行うことができ、広告効果を高めることができる。

#### 【 0 0 2 6 】

なお、上記の例では、ユーザインタフェース部 1 2 0 から広告データ表示制御部へ通知するための操作入力検知機能はすべての操作入力でも良く、あらかじめ登録された操作入力に対してのみ、入力検知を、広告データ表示制御部へ通知するとしても良い。

#### 【 0 0 2 7 】

また、広告データの表示は一定時間経過後に停止するとしたが、ユーザからの決められた操作入力によって停止する、あるいは、あらかじめ決められた数の広告データを表示した後に停止することも可能である。

#### 【 0 0 2 8 】

（実施の形態 2）

図2は本発明の実施の形態2における装置の構成を示すものである。図2において、図1と同じ符号の個所は、実施の形態1で説明した動作と同じであるため説明を省略する。

【0029】

220は、ユーザインタフェース部であり、操作手段131からの入力を受け、番組表示操作やモニタ出力操作を、番組データ表示制御部104およびモニタ出力制御部105へ通知するものであり、さらに、操作手段131からの入力により受け付けた、番組視聴予約情報を、装置情報記憶部に記憶させる。

【0030】

216は、装置情報記憶部であり、番組データと共に伝送される番組表情報や、装置毎に固有の番組契約情報、また、ユーザの操作手段による操作によって、ユーザインタフェース部を介して設定される番組視聴予約情報を記憶するものである。

【0031】

215は、広告データ表示通知部であり、装置情報記憶部の内容や時刻等の情報により、広告データの表示すべきタイミングを広告データ表示制御部に通知するものである。

【0032】

214は、広告データ表示制御部であり、広告データ表示通知部からの通知を受け、モニタ出力制御部に対して、広告データを出力するとともに広告データの表示を指示するものである。

【0033】

以下その動作を説明する。

【0034】

広告データ表示通知部215は、①装置情報記憶部216に記憶されている番組表情報により、現在選択されているチャンネルが、番組放送中止時間帯（カラーバー出力やテスト放送など、番組放送でない場合）であることを検知した場合、②装置情報記憶部216に記憶されている番組契約情報により、現在選択されているチャンネルが、その装置では契約されていないチャンネルで、視聴不可で

あることを検知した場合、③装置情報記憶部 216 に記憶されている番組予約情報により、特定チャンネルの特定番組が視聴予約されたことを検知した場合、その予約された番組が開始する直前の、一定時間の間と、その予約された番組が終了した直後の、一定時間の間、以上のいずれかの場合に広告データ表示制御部 214 に対し広告データを表示するように通知する。

【0035】

広告データ表示制御部 214 は、上記の通知を受けモニタ出力制御部 105 に対し、広告データを出力するとともに、広告データの表示を指示する。

モニタ出力制御部 105 は、番組データと同時に広告データを出力表示する。

【0036】

図 4 は、実施の形態 2 における広告データの表示にかかわる動作を示すフローチャートである。

【0037】

ステップ 402 において、選択中のチャンネルが未契約チャンネルすなわち視聴不可であると判断されれば、番組データの表示を縮小し、これにより生じた空欄に広告データの表示が ON される。またステップ 403 において選択中のチャンネルが放送中止時間帯であると判断されれば、広告データの表示が ON される。また、ステップ 404 において選択中のチャンネルが PPV チャンネルであると判断され、番組が視聴予約されかつその番組放送の直前あるいは直後の一定時間内である場合（ステップ 406、ステップ 407）にも広告データの表示が ON される。

【0038】

選択中のチャンネルが、未契約チャンネルでもなく、放送中止時間帯でもなく PPV チャンネルでもなければ、広告データの表示を OFF し、番組データの表示を通常に戻す。

【0039】

また、PPV チャンネルの場合、番組が予約されていない場合（ステップ 406）もしくは予約された番組の放送の直前あるいは直後でない場合（ステップ 407）には、広告データの表示は OFF される。

【0040】

これにより、現在モニタに出力されているチャンネルが放送中止時間帯である場合、現在モニタに出力されているチャンネルが、契約されておらず視聴不可チャンネルである場合には、広告データを表示することができる。

【0041】

また、PPV（ペイパービュー）などで、予約された番組が開始する直前および終了した直後である場合に、広告データを表示する機能可以实现できる。

【0042】

実施の形態1または2の動作を示すフローチャートにおいて、広告データの表示ONとは、広告データが表示されていなければ表示開始し、広告データが表示されていれば引き続き表示するという動作を示す。

【0043】

また、広告データの表示OFFとは、広告データが表示されていれば表示終了し、広告データが表示されていなければ引き続き表示しないという動作を示す。

【0044】

なお、本発明における蓄積データ表示装置を実現するための蓄積データ表示方法はプログラムによって実現することも可能である。

【0045】

また、以上の実施の形態全てにおいて、広告の表示は番組と同時としたが、広告のみを表示するようにすることも可能である。また、番組を縮小表示し、空欄に広告を表示するとしたが、これらを重ね合わせて表示しても良い。

【0046】

また、表示するのは広告データとしたが、お知らせ等の他の情報でも良い。

【0047】

【発明の効果】

本発明によれば、ユーザの番組データへの操作が入力されると、広告データの表示が開始され、ユーザがモニタの前にいる可能性が高い場合に広告データを表示することができる蓄積データ表示装置を提供できる。また、番組表情報、番組契約情報、番組予約情報などに基づいて、個々の装置の状態を判断することによ

り、番組データの表示を妨げない状況で広告データを表示することができる蓄積データ表示装置を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

実施の形態 1 における装置の構成を示す図

【図 2】

実施の形態 2 における装置の構成を示す図

【図 3】

実施の形態 1 における広告データ表示のフローチャート

【図 4】

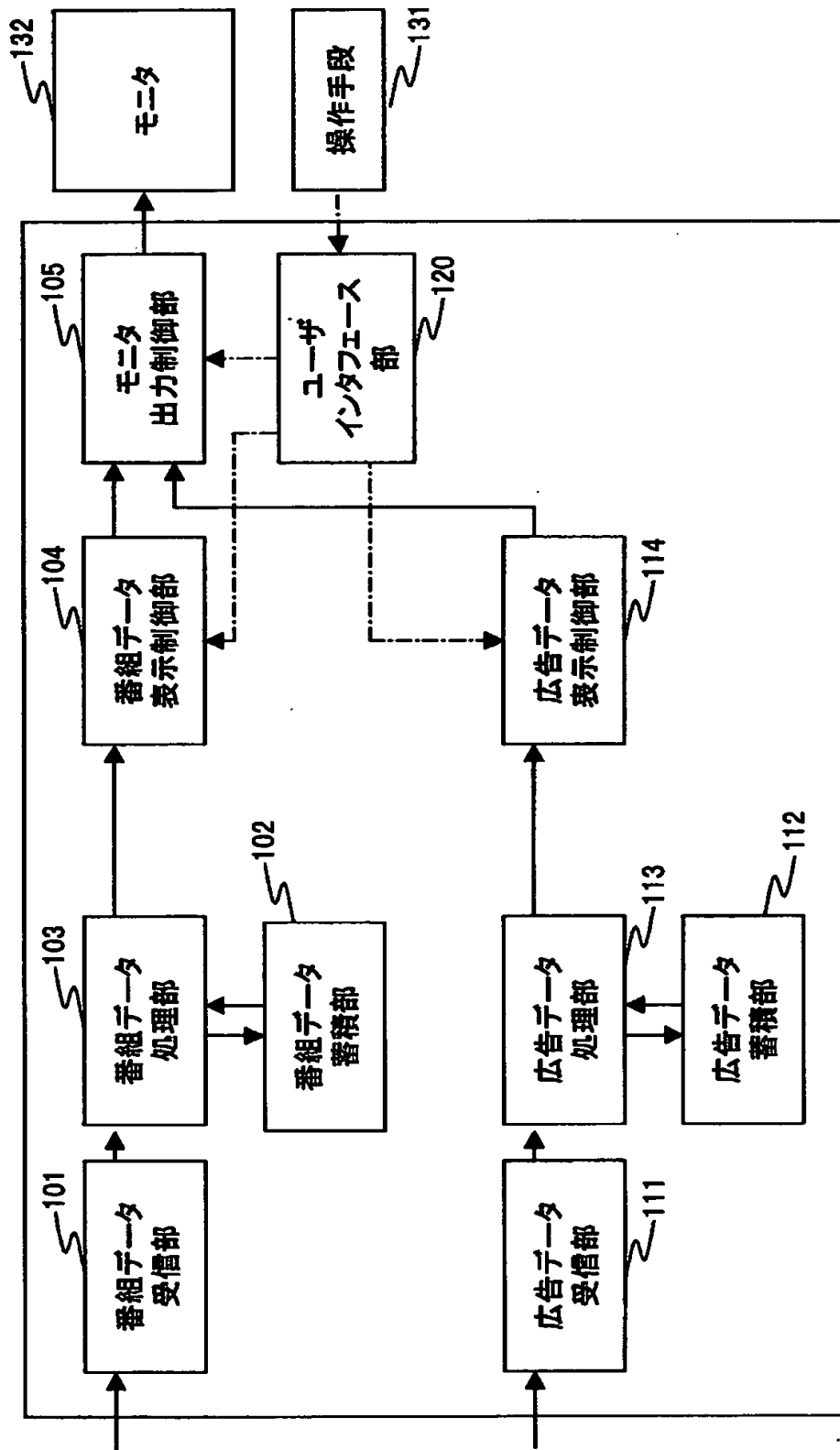
実施の形態 2 における広告データ表示のフローチャート

【符号の説明】

- 1 0 1 番組データ受信部
- 1 0 2 番組データ蓄積部
- 1 0 3 番組データ処理部
- 1 0 4 番組データ表示制御部
- 1 0 5 モニタ出力制御部
- 1 1 1 広告データ受信部
- 1 1 2 広告データ蓄積部
- 1 1 3 広告データ処理部
- 1 1 4 広告データ表示制御部
- 1 2 0 ユーザーインターフェース部
- 1 3 1 操作手段
- 1 3 2 モニタ
- 2 1 4 広告データ表示制御部
- 2 1 5 広告データ表示通知部
- 2 1 6 装置情報記憶部
- 2 2 0 ユーザーインターフェース部

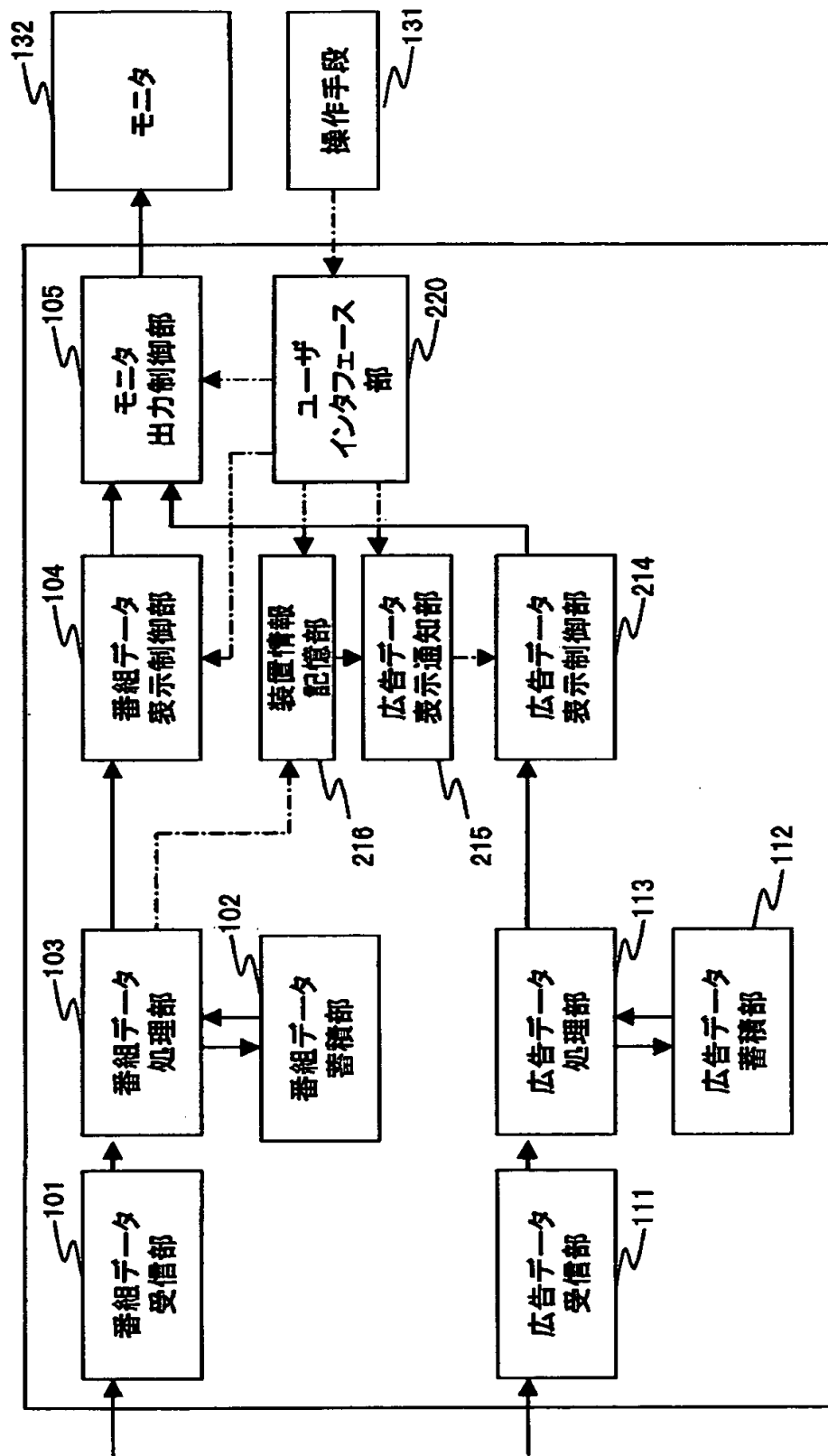
【書類名】 図面

【図1】

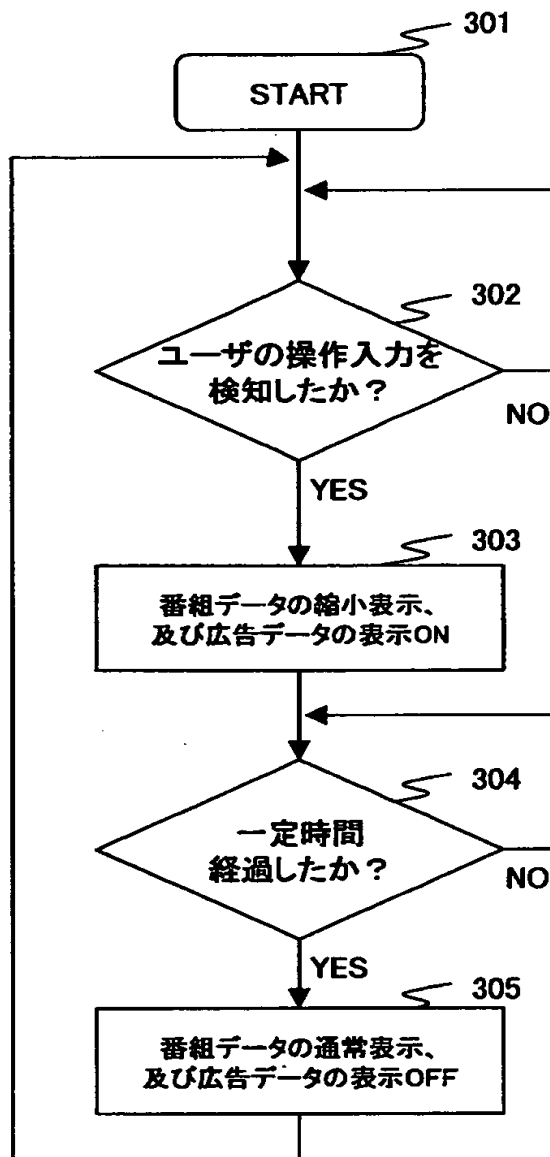




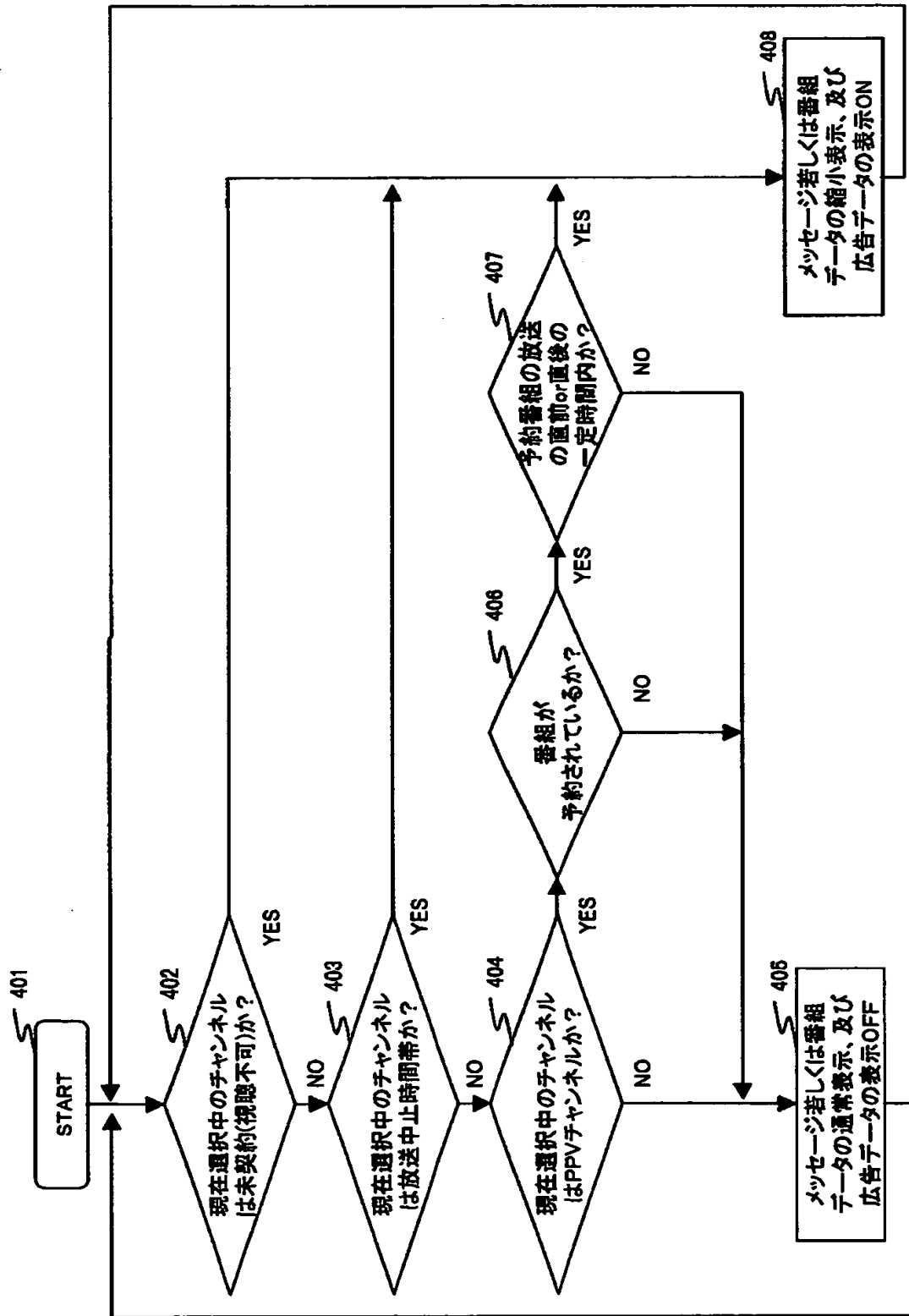
【図2】



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 広告などの番組非連動の広告データを、ユーザがモニタの前にいるときに表示する装置を提供する。

【解決手段】 ユーザインタフェース部からの番組操作・表示操作の入力検知により、広告データの表示を開始する構成を持つ。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日	1990年 8月28日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名	松下電器産業株式会社